

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公開番号】特開2019-165962(P2019-165962A)

【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2019-040

【出願番号】特願2018-55685(P2018-55685)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年12月3日(2021.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可動演出部材を備えた遊技機において、

前記可動演出部材を第1形態と前記第1形態とは前側から見た形状が異なる第2形態と  
に変化させる形態可変機構を備える遊技機。

【請求項2】

前記可動演出部材は、

支持ベースと、

前記支持ベースに支持されて、前側から見て前記支持ベースに重なる第1待機位置と、  
前側から見て前記第1待機位置よりも前記支持ベースからはみ出す第1演出位置と、の間  
を移動可能な第1可動体と、

前記支持ベースに支持されて、前側から見て前記支持ベースに重なる第2待機位置と、  
前側から見て前記第2待機位置よりも前記支持ベースからはみ出す第2演出位置と、の間  
を移動可能な第2可動体と、を備え、

前記形態可変機構は、前記第1可動体を前記第1演出位置に配置し且つ前記第2可動体  
を前記第2待機位置に配置して前記可動演出部材を前記第1形態にし、前記第1可動体を  
前記第1待機位置に配置し且つ前記第2可動体を前記第2演出位置に配置して前記可動演  
出部材を前記第2形態にする、請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記可動演出部材は、

支持ベースと、

前記支持ベースに支持されて待機位置と演出位置との間を移動可能な可動体と、

前記支持ベースと前記可動体における所定の部位同士を接続する接続部材と、を備え、  
前記接続部材は、前記可動体の移動に伴って伸縮する、請求項1又は2に記載の遊技機

。

【請求項4】

前記可動演出部材は、

支持ベースと、

前記支持ベースに支持されて待機位置と演出位置との間を移動可能な可動体と、

前記支持ベースと前記可動体における所定の部位同士を接続する接続部材と、を備え、

前記接続部材は、前記可動体の移動に伴って、折り曲げられた状態と、その状態より伸ばされた状態と、に変化する、請求項 1 から 3 の何れか 1 の請求項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、可動演出部材を備えた遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

特許文献 1 の遊技機では、バットを模した可動演出部材が回動する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特許文献 1 の遊技機では、可動演出部材が単に移動するだけであり、可動演出部材の興趣に欠けるという問題があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

第 1 の手段は、可動演出部材を備えた遊技機において、前記可動演出部材を第 1 形態と前記第 1 形態とは前側から見た形状が異なる第 2 形態とに変化させる形態可変機構を備える遊技機である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】